



2018年3月16日

武蔵野銀行及びT&Iイノベーションセンター株式会社との
API活用に関する業務提携について
～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）と武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、「千葉・武蔵野アライアンス」に基づく提携施策として、2018年3月15日（木）、T&Iイノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄、以下「T&I」）とAPI活用に関する業務提携について合意しました。

現在、T&Iが開発を進めているAPI基盤「TSUBASA FinTech共通基盤」は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」*加盟行以外の金融機関にも幅広くご利用いただけるプラットフォームとなっており、今回の業務提携がその初めてのケースとなります。

今回の業務提携では、フィンテック企業との連携など「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用した新たなサービスの提供に向け相互に協力していくとともに、それぞれが有する知見・人材を集結・活用し、さらなる銀行業務の革新および顧客利便性の向上を目指してまいります。具体的な業務提携の範囲は下記のとおりです。

記

- 「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用したユースケースの検討
- 「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用した新サービスの開発
- 「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用するためのノウハウ・情報の共有、技術支援

※フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

以上